

# 青森県経済統計報告

平成 20 年 1 月 30 日  
企画政策部統計分析課

## 1 青森県の推計人口（平成 20 年 1 月 1 日現在）..... 1

県人口	1,406,738 人（対前月 784 人 減少）
自然動態	534 人減少（出生者数 769 人、死亡者数 1,303 人）
社会動態	250 人減少（転入者数 1,162 人、転出者数 1,412 人）

## 2 本県の経済動向

### （1）経済概況

本県経済は、全体としては足踏み感が窺われる。

### （2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 平成 19 年 11 月の青森県鉱工業生産指数(平成 12 年 = 100)は、季節調整済指数が 95.5 で、前月比 3.4%の低下となり、3 ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 102.8 で、前年同月比 2.9%の上昇となり、2 ヶ月連続で前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用情勢 平成 19 年 11 月の定期給与は 226,995 円で前年同月比 0.6%増となった。総実労働時間は 161.7 時間で前年同月比 0.7%減、所定外労働時間は 10.2 時間で前年同月比 0.6%増となった。平成 19 年 12 月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.47 倍で、前月比 0.03 ポイント上回った。 ... 3
- (2-3) 物価 平成 19 年 12 月の青森市消費者物価指数は、平成 17 年を 100 として 101.1 となり、前月と比べ 0.7%の上昇、前年同月と比べ 1.2%の上昇となった。 ... 4
- (2-4) 個人消費 平成 19 年 11 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 137 億 4 千万円で前年同月比 1.7%減と 9 ヶ月連続で減少、既存店ベースでは 2.3%減と 24 ヶ月連続で減少となった。平成 19 年 12 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 2,338 台で、前年同月比 3.6%の減となり、4 ヶ月連続で前年を下回った。 ... 5
- (2-5) 住宅建設 平成 19 年 11 月の新設住宅着工戸数は 460 戸で、前年同月比 32.3%減となり、5 ヶ月連続で前年を下回った。 ... 6
- (2-6) 電力使用量 平成 19 年 11 月の大口電力使用量は 2 億 1,427 万 kWh で、前年同月比 7.4%減となり、14 ヶ月ぶりに前年を下回った。 ... 6

### （3）景気動向指数（平成 19 年 11 月分）..... 7

先行指数	55.6%（3 か月ぶりに 50%を上回った）
一致指数	33.3%（2 か月ぶりに 50%を下回った）
遅行指数	33.3%（2 か月ぶりに 50%を下回った）

### （4）青森県景気ウォッチャー調査（平成 20 年 1 月期）..... 8

3 ヶ月前と比べた景気の現状判断 D I	30.1（前期比 11.6 ポイント減、2 期連続で 50 を下回る）
3 ヶ月後の景気の先行き判断 D I	33.1（前期比 10.8 ポイント減、2 期連続で 50 を下回る）

# 1 青森県の推計人口(平成20年1月1日現在)

## 【概 況】

平成20年1月1日現在の本県推計人口は、1,406,738人で、前月に比べ784人の減少となった。

### ○自然動態

出生者数が769人、死亡者数が1,303人で、534人の減少となった。

### ○社会動態

転入者数が1,162人、転出者数が1,412人で、250人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	性別		対前月増減率	増減数	自然増減数			社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数	増減数			
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
19. 1. 1	1,421,519	670,706	750,813	-0.045%	-640	-503	786	1,289	-137	1,212	1,349
19. 2. 1	1,420,348	670,000	750,348	-0.082%	-1,171	-552	841	1,393	-619	1,099	1,718
19. 3. 1	1,419,497	669,462	750,035	-0.060%	-851	-393	763	1,156	-458	1,134	1,592
19. 4. 1	1,412,767	665,701	747,066	-0.474%	-6,730	-465	831	1,296	-6,265	3,722	9,987
19. 5. 1	1,412,047	665,362	746,685	-0.051%	-720	-474	794	1,268	-246	4,208	4,454
19. 6. 1	1,411,117	664,842	746,275	-0.066%	-930	-310	1,007	1,317	-620	1,596	2,216
19. 7. 1	1,410,247	664,306	745,941	-0.062%	-870	-361	812	1,173	-509	1,233	1,742
19. 8. 1	1,409,665	664,003	745,662	-0.041%	-582	-267	948	1,215	-315	1,939	2,254
19. 9. 1	1,409,176	663,804	745,372	-0.035%	-489	-414	850	1,264	-75	2,220	2,295
19.10.1	1,408,589	663,460	745,129	-0.042%	-587	-277	765	1,042	-310	1,710	2,020
19.11.1	1,408,039	663,193	744,846	-0.039%	-550	-321	982	1,303	-229	1,743	1,972
19.12.1	1,407,522	662,925	744,597	-0.037%	-517	-420	826	1,246	-97	1,309	1,406
20. 1. 1	1,406,738	662,556	744,182	-0.056%	-784	-534	769	1,303	-250	1,162	1,412

12月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平10.12	11.12	12.12	13.12	14.12	15.12	16.12	17.12	18.12	19.12
自然動態	出生者数	1,053	1,000	1,015	976	898	896	879	790	786	769
	死亡者数	1,048	1,089	1,065	1,192	1,162	1,144	1,222	1,208	1,289	1,303
	自然増減数	5	-89	-50	-216	-264	-248	-343	-418	-503	-534
社会動態	県外からの転入者数	1,554	1,309	1,433	1,497	1,370	1,364	1,275	1,184	1,212	1,162
	県外への転出者数	1,495	1,261	1,385	1,370	1,612	1,531	1,419	1,484	1,349	1,412
	社会増減数	59	48	48	127	-242	-167	-144	-300	-137	-250

1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

3 算出方法

県の推計人口 = 前月の人口 + 自然増減数(出生者数 - 死亡者数) + 社会増減数(県外からの転入者数 - 県外への転出者数)

4 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

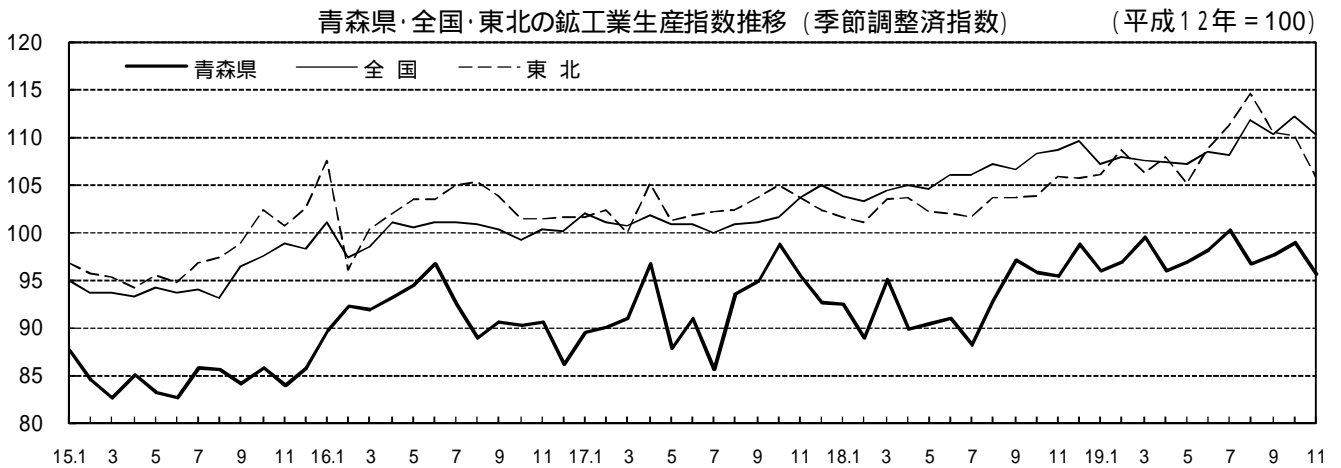
## 2 本県の経済動向

### (2) 主要経済指標の動向

#### (2-1) 製造業の生産

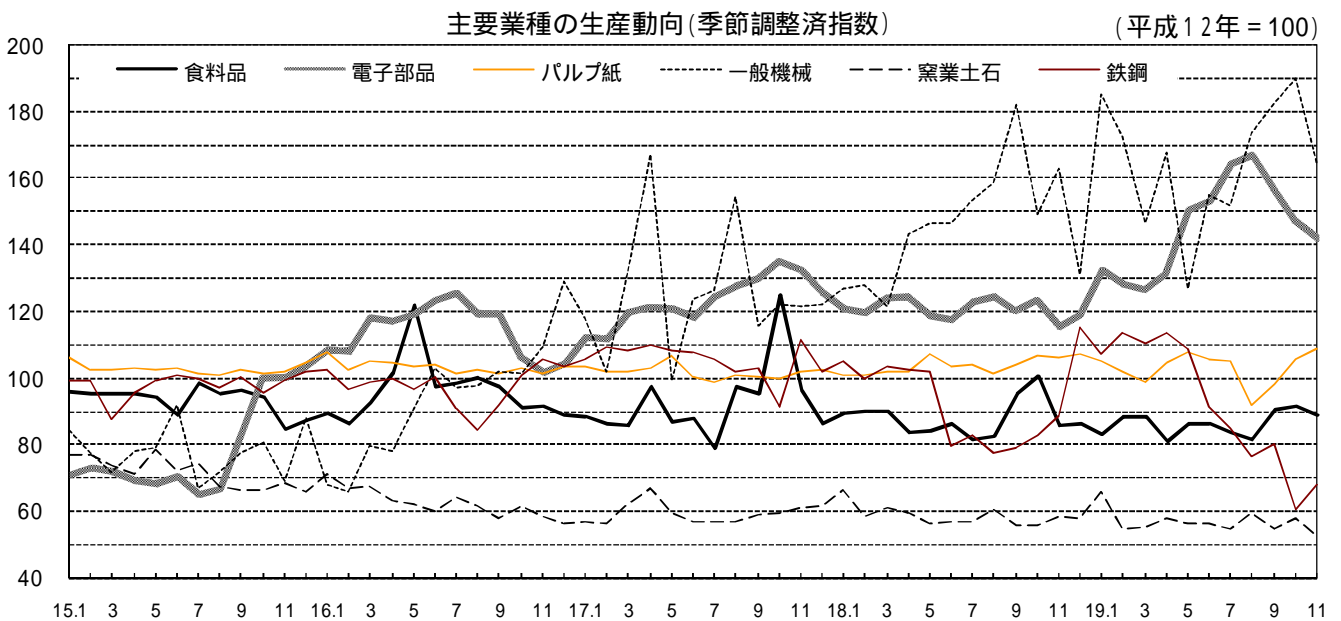
平成19年11月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が95.5で、前月比3.4%の低下となり、3ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は102.8で、前年同月比2.9%の上昇となり、2ヶ月連続で前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電気機械工業、鉄鋼業、金属製品工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、一般機械工業、食料品工業などが低下し、鉱工業全体では3.4%の低下となった。



#### 業種別動向 (前月比) 鉱工業全体 -3.4%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電気機械工業	25.8	23.2	化学工業	-65.4	-99.3
鉄鋼業	12.4	4.2	一般機械工業	-13.3	-16.0
金属製品工業	22.5	4.2	食料品工業	-3.1	-7.7
精密機械工業	14.0	3.8	電子部品・デバイス工業	-3.6	-6.6
パルプ・紙・紙加工品工業	2.8	2.6	窯業・土石製品工業	-9.6	-3.4



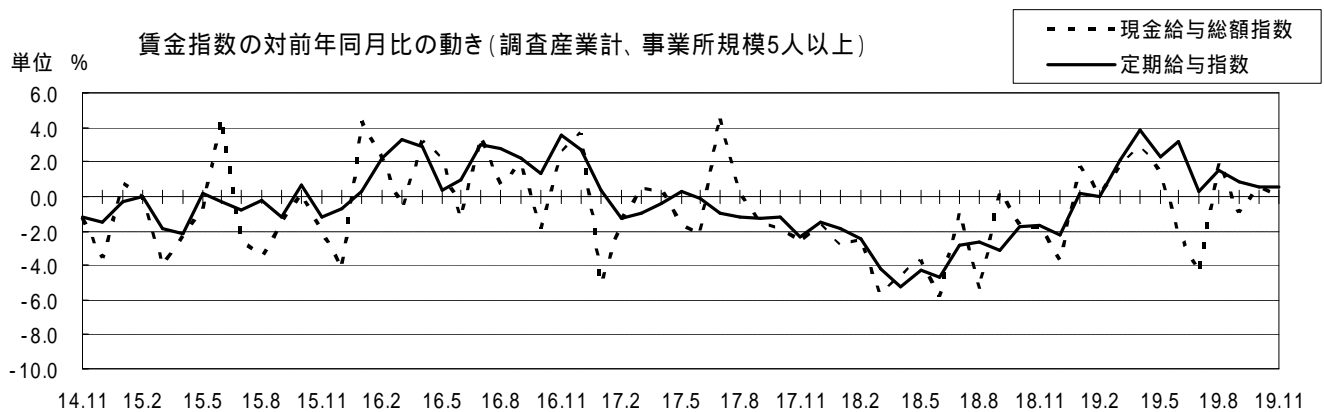
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

## ( 2 - 2 ) 雇用情勢

平成 19 年 11 月の定期給与は 226,995 円で定期給与指数(平成 17 年 = 100)では 98.6 となり、前年同月比 0.6% 増(現金給与総額 228,933 円、現金給与総額指数 83.9、前年同月比 0.1% 減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は 83.8 となった。

総実労働時間は 161.7 時間で、総実労働時間指数は 101.5 となり、前年同月比 0.7% 減となった。このうち、所定外労働時間は 10.2 時間で、所定外労働時間指数では 103.0 となり、前年同月比 0.6% 増となった。

平成 19 年 12 月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.47 倍で、前月比 0.03 ポイント上回った。



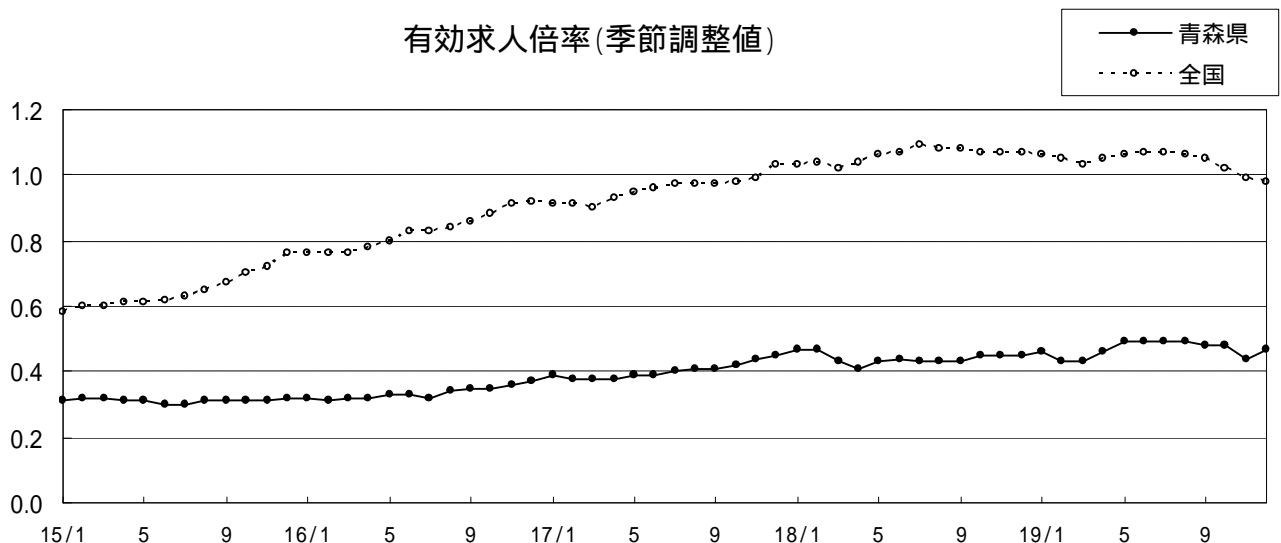
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実 数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	228,933 円	290,302 円	83.9	87.6	-0.1 %	0.1 %
定期給与	226,995 円	270,942 円	98.6	100.3	0.6 %	0.2 %
特別給与	1,938 円	19,360 円				
総実労働時間	161.7 時間	156.0 時間	101.5	103.4	-0.7 %	1.4 %
所定内労働時間	151.5 時間	144.7 時間	101.4	103.3	-0.8 %	1.7 %
所定外労働時間	10.2 時間	11.3 時間	103.0	106.6	0.6 %	-0.2 %

(注) 1. 定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2. 前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

### (2-3) 物価

平成19年12月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が101.1となり、前月と比べ0.7%の上昇、前年同月と比べ1.2%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は101.1となり、前月と比べ0.7%の上昇、前年同月と比べ1.2%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.0となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.8%の下落となった。

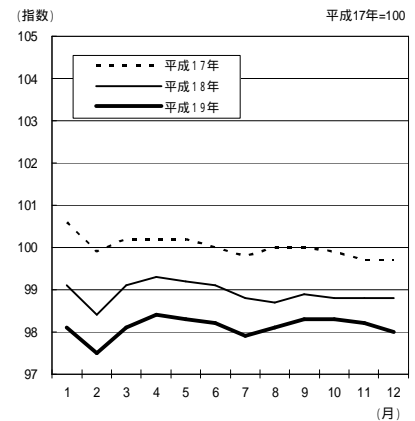
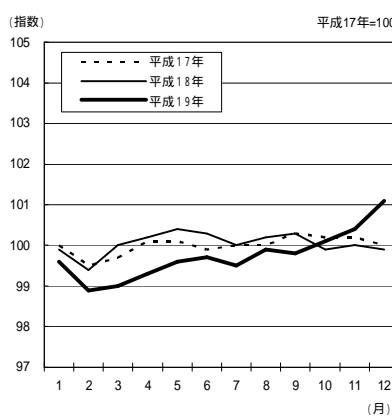
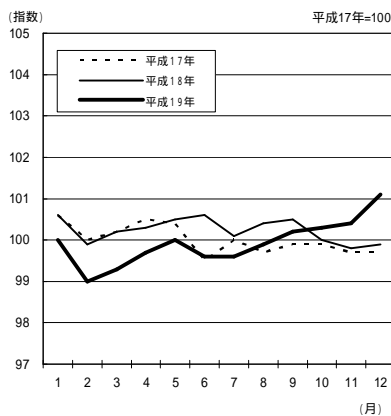
総合指数が前月と比べ0.7%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

総合指数の前年同月比が1.2%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの上昇が要因となっている。

図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き

図1 総合指数の動き

図2 生鮮食品を除く総合指数の動き



#### 10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家の 帰属家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・ 家事用品	被及履 及び履物	服 及び履物	保 険	健 康	交通・ 通信	教 育	教 育	教 育	養 楽	諸 雑費
当月指数	101.1	101.1	101.4	98.0	99.6	100.2	99.2	117.0	92.6	101.5	99.7	103.3	101.2	94.0	100.8				
前月比(%)	0.7	0.7	0.8	0.2	0.6	0.6	0.0	4.2	0.3	0.3	0.1	1.1	0.0	0.6	0.2				
寄与度	0.70	0.66	0.67	0.13	0.17	0.03	0.00	0.47	0.01	0.01	0.00	0.12	0.00	0.06	0.01				
前年同月比(%)	1.2	1.2	1.2	0.8	0.5	0.1	0.5	8.5	0.3	0.1	0.3	3.5	0.6	4.3	0.4				
寄与度	1.20	1.13	1.01	0.51	0.14	0.01	0.10	0.92	0.01	0.00	0.01	0.38	0.02	0.43	0.02				

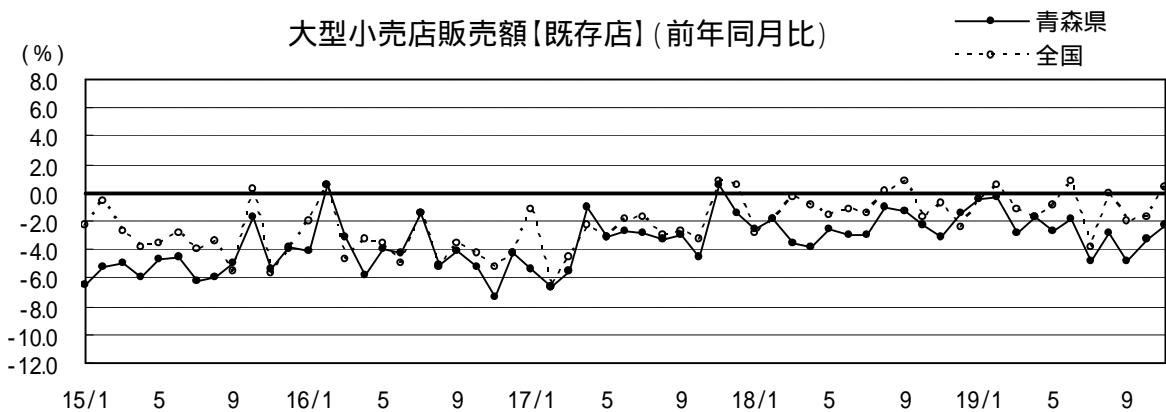
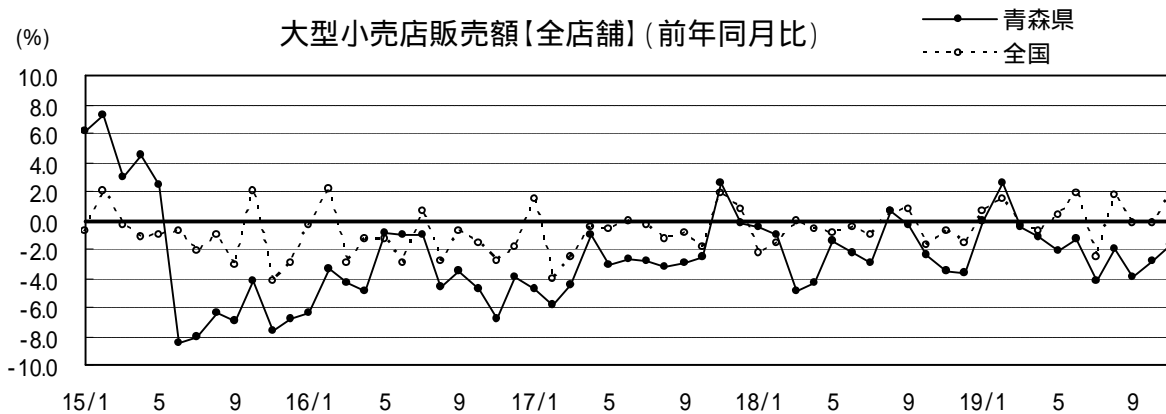
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

## (2-4) 個人消費

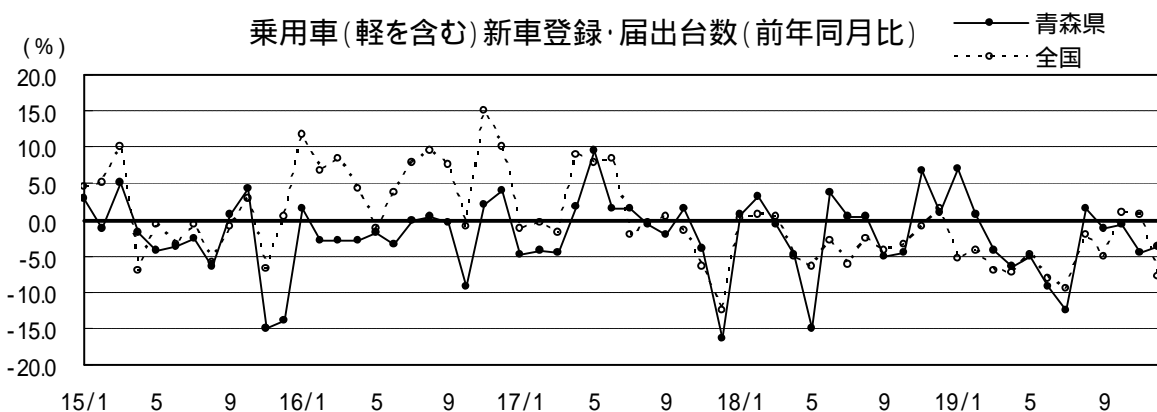
平成19年11月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが137億4千万円で前年同月比1.7%減と9ヶ月連続で減少、既存店ベースでは2.3%減と24ヶ月連続で減少となった。百貨店は上旬に暖かい日が続いたことから冬物衣料が振るわず、また、スーパーは身の回り品や家電などに動きがみられたものの、飲食料品等が低調だったことなどから、それぞれ9ヶ月連続、10ヶ月連続で前年を下回った。

平成19年12月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は2,338台で、前年同月比3.6%の減となり、4ヶ月連続で前年を下回った。普通車が6ヶ月連続で、また、小型車が21ヶ月ぶりにそれぞれ増加したものの、軽自動車が3ヶ月連続で減少したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

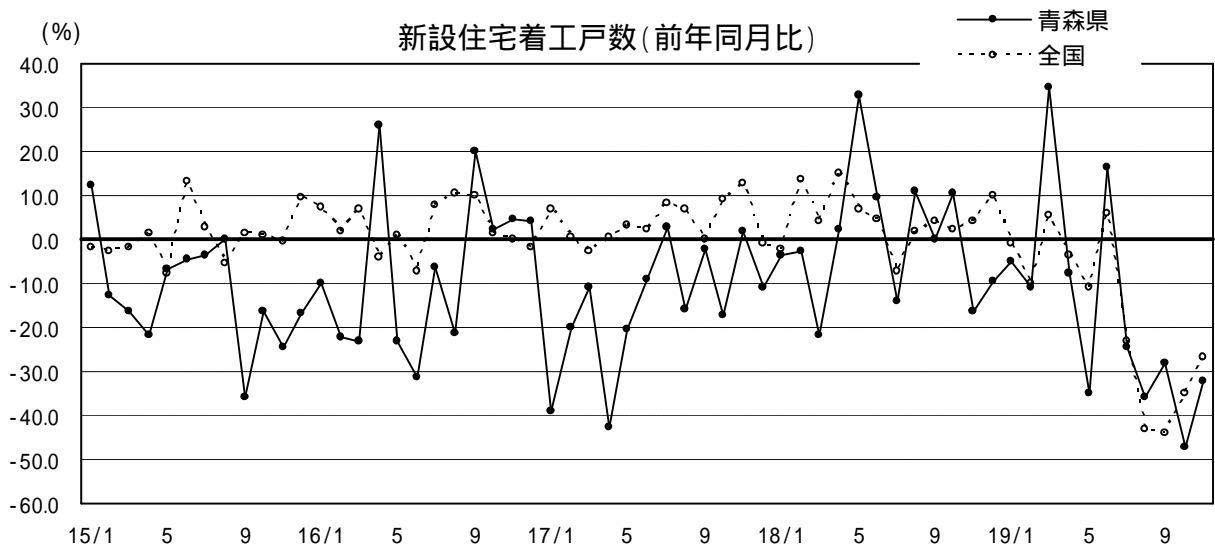
\* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

## ( 2 - 5 ) 住宅建設

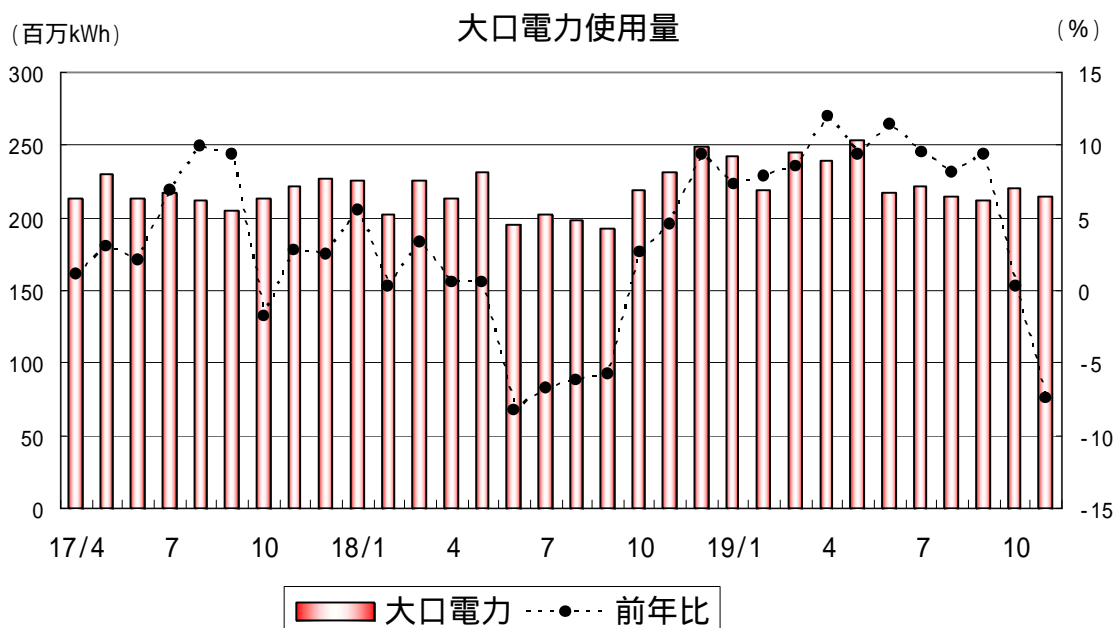
平成19年11月の新設住宅着工戸数は460戸で、前年同月比32.3%減となり、5ヶ月連続で前年を下回った。持家、貸家、分譲がいずれも減少したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

## ( 2 - 6 ) 電力使用量

平成19年11月の大口電力使用量は2億1,427万 kWh で、前年同月比7.4%減となり、14ヶ月ぶりに前年を下回った。「機械」などが稼働増となったものの、「鉄鋼」「窯業・土石」などが稼働減となったことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

### (3) 青森県景気動向指数

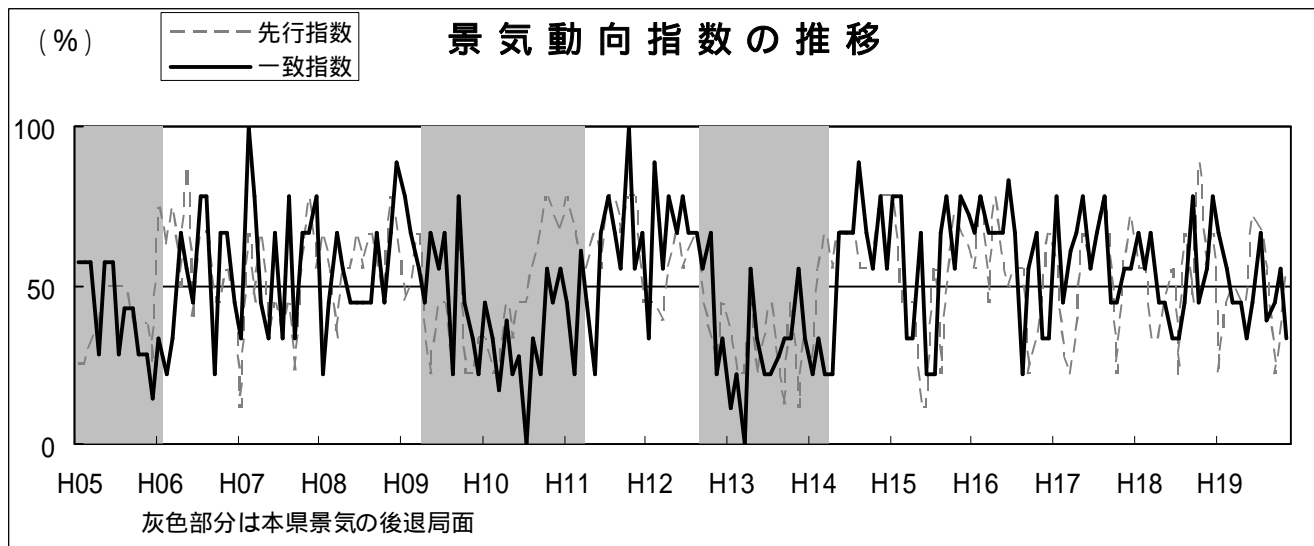
平成19年11月の青森県景気動向指数は、先行指数55.6%、一致指数33.3%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、3か月ぶりに50%を上回った。

一致指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は、2か月ぶりに50%を下回った。

11月の一致指数は、生産関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
<b>先行系列（9指標中5指標がプラス）</b>			
乗用車新車登録届出数	4か月連続	生産財生産指数	3か月連続
所定外労働時間指数	2か月連続	新規求人倍率（全数）	4か月連続
入職率（製造業）	3か月ぶり	新設住宅着工床面積	5か月連続
建築着工床面積	4か月ぶり	中小企業景況DI	2か月ぶり
企業倒産負債額	2か月ぶり		
<b>一致系列（9指標中3指標がプラス）</b>			
電気機械生産指数	3か月連続	大型小売店販売額（既存店）	3か月連続
総実労働時間数（全産業）	3か月ぶり	鋳工業生産指数	3か月ぶり
日銀券月中発行高	4か月ぶり	大口電力使用量	6か月連続
		有効求人数（全数）	6か月ぶり
		海上出入貨物量（八戸港）	3か月ぶり
		東北自動車道IC利用台数	2か月ぶり
<b>遅行系列（6指標中2指標がプラス）</b>			
1人平均月間現金給与総額	2か月連続	勤労者世帯家計消費支出（実質）	3か月連続
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	2か月連続	常用雇用指数（製造業）	3か月連続
		単位労働コスト（製造業）	2か月連続
		輸入通関実績（八戸港）	4か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」



#### (4) 青森県景気ウォッチャー調査

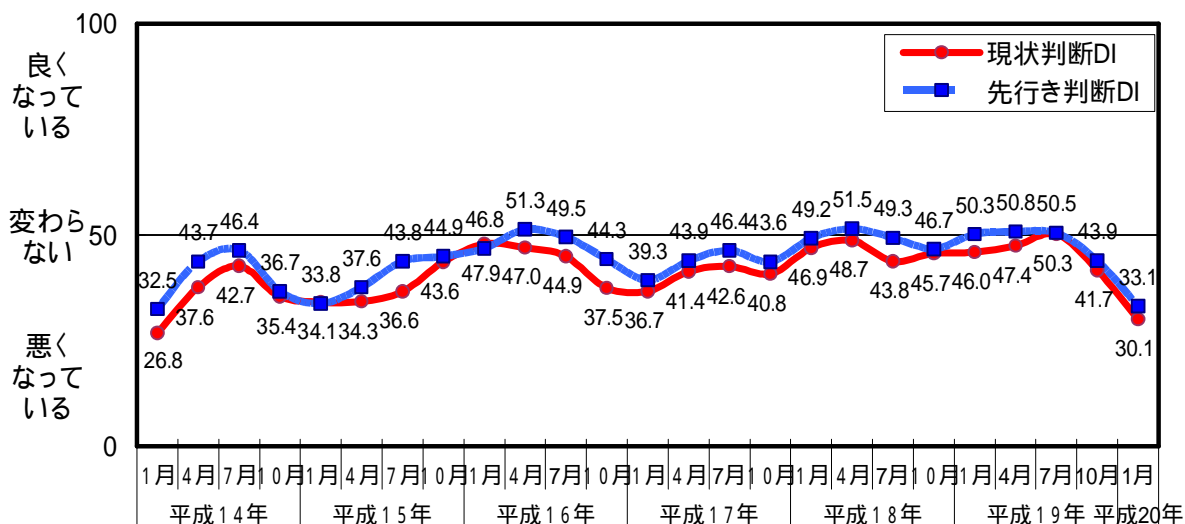
平成20年1月期の景気ウォッチャー調査は、1月4日～1月17日を調査期間とし、回答率99%となった。

3か月前と比べた景気の現状判断DIは30.1で、前期調査を11.6ポイント下回った。

3か月後の景気の先行き判断DIは33.1で、前期調査を10.8ポイント下回った。

1月期は、景気の現状判断DI、先行き判断DI共に前期を下回り、2期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



#### 3か月前と比べた景気の現状判断

動	<p>前期調査と比べると、「変わらない」が25.3ポイント減少し、「やや悪くなっている」が16.1ポイント、「悪くなっている」が13.1ポイント増加したことにより、全体では11.6ポイント減の30.1となり、2期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由をみると、一部において客数の増加があったという声がみられるが、原油価格の高騰による原料費等の値上げが企業収益を圧迫している、ガソリン・灯油価格の高騰や商品の値上げなどで消費者の買い控えがみられるという意見が多かった。</p>
向	<p>前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。</p>

#### 3か月後の景気の先行き判断

動	<p>前期調査と比べると、「変わらない」が20.2ポイント減少し、「やや悪くなる」が18.2ポイント、「悪くなる」が9.1ポイント増加したことにより、全体では前期を10.8ポイント下回る33.1となり、2期連続で横ばいを示す50を下回った。</p> <p>判断理由を見ると、卒業・入学期の需要に期待する声がみられるが、原油価格の高騰が続くことによる収益環境の悪化や所得が増えない中での物価上昇に対する消費者の生活防衛の高まりなどにより、先行きに不安を感じている声が多くみられた。</p>
向	<p>前期調査に比べて、全地区においてポイントが減少し、全ての地区で横ばいを示す50を下回った。</p>

資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」

(参考)景気ウォッチャーによる景気判断理由(一部)

### 3か月前と比べた景気の現状判断理由

年末年始の一時的なものかもしれないがやや好転している。(パチンコ=東青)

年末も盛り上がりがなく、いつもの月と変わらない。(家電量販店=津軽)

旧型製品は原材料の値上げで苦しくなっているものの、最近発売になった新製品は順調に受注を増やしているから。(電気機械製造=県南)

衣料品全般の販売不振、特に単価の高いコート類が不振。また、ジャケットやスカートなどの主要な商品の売れ行きも鈍い。ついで買いや衝動買いは避け、ぜいたく品や不要の品物は買わないというような消費意識を強く感じる。(百貨店=津軽)

石油の高騰による全ての生活物資の値上げがかなり消費へ悪影響となったと考えられる。夏場迄良かった営業収入も秋から冬にかけかなり下がってきている。(タクシー=下北)

原油高騰の影響により、燃料費、包装資材、原料が値上がりし、メーカーとしては商品の品質保持のために受け入れざるを得ない状況です。その分を売価に転嫁できない場合、収益を大きく圧迫します。(食料品製造=東青)

原燃料価格の上昇が続き、企業収益を圧迫している。(紙・パルプ製造=県南)

×各種の値上がりが続く、消費者の生活に対する不安もあり、浪費をしなくなっている。予約も昨年の3分の1に激減している。(観光型ホテル・旅館=津軽)

×県外の自動車関連の期間工の求人広告はあるが、地元の求人広告、営業広告も鈍い動きが続いている。(新聞社求人広告=東青)

### 3ヵ月後の景気の先行き判断理由

ガソリン価格の安定と、国民の立場に近づく政策の効果期待。卒業・入学期の需要の対応。(美容院=県南)

一般的には悪くなっていると思うが、幸いに当地方のりんごの販売実績が良い傾向である為。(旅行代理店=津軽)

灯油を使わなくなる5月くらいまでは、財布に余裕は出てこないのでは?。(一般小売店=下北)

注文、取引が増える一方で製造原価が素材高で上昇すると思われ、良い面・悪い面ともにある為。(食料品製造=県南)

物価だけ上がり、収入は変わらない。(税金等が上がり、減っていることもあり)先行きが不安。ますます買物を控えるのでは。(家電量販店=東青)

灯油の需要期に入り石油高の影響は多くの業種の収益環境を悪化させると見られる。(経営コンサルタント=東青)

最近、株価下落、原油高騰が影響してか、石油製品、食品等の大幅な値上げが実施又は今後予定されており、このような状況の中で、消費手控えの基調が継続することでしょう。(人材派遣=津軽)

×今年初頭から経済の衰退が株価等にも表れており、地方経済はより冷え込むものと想定される。従って消費もにぶるものと思われる。(商店街=津軽)

×お客様心理は現在、灯油・ガソリンの値上がりに対し防衛本能が高まっている。余計なものは買わない傾向になってきていると思います。(スーパー=県南)

記号の意味: 良くなっている、 やや良くなっている、 変わらない、 やや悪くなっている、 ×悪くなっている

資料: 県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査報告書」